

ブラインドサッカー 脳震盪による一時的交代に関する方針

はじめに

この方針の目的は、全盲および弱視の(B1&PS)サッカー(ブラインドサッカーおよびロービジョンフットサル)に関わるすべての人の健康と安全を守り改善することにある。

草の根レベルから国際/エリートレベルまで、私たちは健康的で安全なスポーツとしてブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルの推進に取り組んでいる。

この方針の中で重要なのは、重大な怪我の防止とブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルの競技者の負傷からの復帰を管理するための最善の方法を確立することである。

脳震盪の診断と管理は、ブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルにおける重点分野とされている。

選手交代の手続き

競技者が頭に損傷を負い、脳震盪の疑いがある場合、チームはその競技者にプレーを続けさせず、十分な経験のある医師等による診断を受けさせなければならない。

この方針による交代手続きによって、診断中の(脳震盪の疑いのある)負傷した競技者を一時的な代替競技者(TCS)で置き換えることができる。(負傷した競技者を診断している間、暫定的に他の競技者がプレーできるようにする。)

この新しい規則は、脳震盪が疑われる場合にのみ適用される。

他のすべての脳震盪が疑われない怪我に対しては、IBSAブラインドサッカー競技規則の通常の交代手続きに従わなければならない。

脳震盪による一時的な交代選手(TCS)

IBSAブラインドサッカー競技規則の条文への適用

- ・脳震盪が疑われる場合、事前に承認されたチームのドクターは、負傷した競技者の適切な診断のためにTCSを適用することができる。
- ・競技者が重傷を負った場合、試合の審判は、チームドクターによる診断を受けるために競技者をピッチから退出させるために、プレーを停止しなければならない。
- ・IBSA Classificationの規則および基準は、VI Footballに関連して常に適用される。(IBSA Classification Rules and Regulations apply at all time in relation to VI football.)
- ・TCSは最大10分間プレーすることができる。この期間が経過した後、TCSは次のいずれかとなる。
 - 審判が次にプレーを停止した時に、(脳震盪の診断のため)ピッチから離れていた競技者と交代して、ピッチを離れる。
 - (ピッチに入ったことを)通常の交代としてピッチに残りプレーを続ける。
 - ピッチを離れ、チームは1人少ない状態でプレーを続ける。
- ・チームが(6人の)交代を終えている場合、TCSを使用できるが、そのTCSは負傷した競技者が戻ってくるかどうかにかかわらず、10分後にピッチから離れなければならない。
- ・競技者は、審判が次にプレーを停止した時にピッチに入るまたは出ることができる。

・TCSに与えられた懲戒罰(警告・退場など)は、その(懲戒罰を受けた)競技者に対してスコアシートに記録され、所属チームに影響する。

意図的な脳震盪の詐病行為(IM)が疑われる場合、TCS方針に沿ってIBSA法務倫理委員会によって扱われる。

適用範囲

- ・脳震盪による一時的な選手交代(TCS)に関する規則は、2021年1月1日にIBSAによって採択され、その後のすべてのブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルの公式大会で施行されている。
- ・TCSに関する規則は、ブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルのIBSAの競技規則および基準の一部を適宜参照している。
- ・これらのTCSに関する規則は、IBSAによって組織、承認、または認可されたイベントや競技会に登録および/またはライセンス供与されている、および/または参加しているすべての競技者およびサポート要員に適用される。
- ・これらのTCSに関する規則は、ブラインドサッカーおよびロービジョンフットサルの競技規則だけでなく他のIBSAのスポーツ技術規則を含む、すべての適用可能な規則と併せて適用される必要がある。これらのTCSに関する規則と他の規則との間に矛盾がある場合は、TCSに関する規則が優先される。

TCS Period

IBSA ブラインドサッカー競技規則 第3条 競技者の数 との関連

決定

- ・これらの規則のすべての要件をよく理解することは、競技者、サポート要員、および医療チームの役員の責任である。
- ・TCSを適用する決定は、負傷の状態を明確に診断したチームドクター、および/またはその事象を見て説明できる審判によって行われなければならない。

選手交代の数

- ・チームはTCSを適用することで、チームドクターに競技者の頭部損傷を診断する機会を与えることができる。これは、規定の交代の数(6人)が終わっている場合でも同様。
- ・交代要員がないまたは規定の交代の数が終わっていて、かつ頭部損傷の診断を受けている競技者が復帰することを許可されない場合、TCSは10分(の診断のための時間)経過時にピッチを離れなければならない。

Classification

・「IBSA Classification規則」、「ブラインドサッカー競技規則」および「IBSA競技規則」は、例外なく常に適用される。

TCS Period の長さ

- ・World Rugbyが提供する頭部損傷評価(HIA)の手順に従い、TCSは交代でピッチに入った後最大10分間プレーすることができる。
- ・TCS Periodは、負傷した競技者がピッチを離れたときに始まり、審判が10分間ランニングで計測する。TCSは、10分経過直後にボールがアウトオブプレーとなった時に交代される。

- ・一時的な交代は、HIAが完了するまで、チームの規定の交代の数にはカウントされない。
- ・この期間の後、TCSは次のいずれかになる
 - 審判が次にプレーを停止した時に、(脳震盪の診断のため)ピッチから離れていた競技者と交代して、ピッチを離れる
 - 通常の交代としてピッチに残りプレーを続ける
 - ピッチを離れ、チームは1人少ない状態でプレーを続ける
- ・診断されている競技者が復帰を許可される前に試合が終了した場合、TCSは通常の交代としてスコアシートに記録される。

TCSの懲戒

- ・TCSとしてプレー中にTCSに与えられた懲戒罰は、スコアシートにはその競技者に対するものとして記録される。
- ・競技者がTCSとしてプレー中にレッドカードを受けた場合、その競技者はピッチを離れる必要があり、チームは1人少ない競技者でプレーする。TCSが退場した後、頭部損傷の診断を受けている競技者が復帰を許可された場合、その競技者は試合に再び試合に出場できるが、その際チームは通常の交代を使用する必要があり、チームは引き続き1人少ない競技者でプレーする。

競技者の診断結果

- ・頭部損傷の診断を受けている競技者が(診断の結果)復帰を許可されない場合、TCSは試合に残ってプレーを続けることができるが、チームは通常の交代を行ったことになる。TCSは、この段階では別の交代をしない限りピッチを離れることはできない。チームがこの期間(診断)の後にTCSを交代させる(ピッチから出す)場合、それはもう一つの交代としてカウントされる。
- ・診断を受けている競技者が試合に復帰する許可を得た場合、その競技者は審判がプレーを停止した時に再入場でき、TCSは交代でピッチから退く。

競技者の責任

- ・頭部損傷評価(HIA)プロトコルに誠意を持って参加する(診断を受ける)こと。
- ・必要に応じて、健康状態に関連する適切な情報がチームドクターおよびIBSAの医療関係者に提供および/または利用可能になるように努める。
- ・TCSに関する方針の違反に関する調査に協力する。

サポート要員の責任

- ・これらのTCSに関する規則によって確立された、適用可能なすべての方針、ルール、およびプロセスに精通し、それらを遵守する。
- ・競技者や他のスタッフへの影響力を利用して、前向きで協力的な態度とコミュニケーションを促進する。

ブラインドサッカー競技規則第5条 主審(権限と任務)

- ・競技者の負傷が軽いと判断した場合、ボールがアウトオブプレーになるまでプレーを続けさせる。
- ・競技者が重傷を負ったと判断した場合、試合を停止し、確実に負傷者をピッチから退出させる。

試合関係者の責任

- ・審判または他のマッチオフィシャルは以下のことに法的な責任を負わない
 - 競技者、役員または観客のあらゆる負傷

これらの決定には、以下が含まれる

- 負傷した競技者を治療のためピッチから退出させることでプレーを停止するかしないかの決定
- 負傷した競技者を治療のためにピッチから退出させる要求をするかどうかの決定

意図的な脳震盪の不当表明(詐病行為)

懲戒処分

- ・頭部損傷の診断中および/または負傷後に、その競技者が自分の技術および/または能力を故意に(作為または不作為のいずれかによって)偽って見せることは懲戒処分の対象となる。この懲戒処分は「意図的な詐病行為」と呼ばれる。
- ・競技者またはサポート要員が、競技者の意図的な詐病行為を支援したり、他の方法で意図的な詐病行為を共謀したり関与したりすることは、懲戒処分の対象となる。これには意図的な詐病行為を隠蔽したり、頭部損傷診断プロセスの一部を妨害したりすることも含まれる。

意図的な脳震盪の詐病行為の申し立て

- ・意図的な詐病行為に関して申し立てができるのは、IBSAの公式な代表者、代表団長、またはIBSA本体のみ。
- ・申し立てには、試合終了のホイッスルから1時間以内にIBSAテクニカルデリゲートに通知する必要がある。

暫定的な出場停止

- ・IBSAが意図的な詐病行為(および/または意図的な詐病行為に関連する共犯)に関して競技者またはサポート要員に対して懲戒手続を開始した場合、調査が実施され解決されるまで、IBSAによってすべての競技会について暫定的に出場停止となる。その結果:
 - 暫定的な出場停止の対象となる競技者またはサポート要員は、出場停止期間中、IBSAが主催、招集または承認した競技会、イベント、またはその他の活動に参加することはできない。
 - 暫定的な出場停止の通知を受け取った競技者またはサポート要員は、いかなる状況においても出場停止を課すことが明らかに不公正である場合には、出場停止の解除をIBSAに申し立てることができる。この申し立ては、IBSAテクニカルデリゲートに送る必要がある。
 - IBSAが暫定的な出場停止を課し、競技者またはサポート要員がそのような聴聞会を要求した場合、出場停止の課された日から30日以内に迅速なヒアリングが行われることを保証する必要がある。

調査

- ・意図的な詐病行為に関連する申し立てに関しては、競技者またはサポート要員が意図的な詐病行為を行ったかどうかを判断するために、IBSAによってヒアリングが開催される。
- ・意図的な詐病行為の可能性の調査には、以下が含まれるが、これらに限定されない。
 - 関係する競技者およびサポート要員へのインタビュー
 - テクニカルアセスメントおよび/または他の(当該または他の大会で)試合中に記録された映像の分析

結果

- ・意図的な詐病行為および/または意図的な詐病行為に関連する共謀で非があるとされた競技者またはサポート要員に適用される処分は、以下の1つ以上となる。
- ・意図的な詐病行為が発生した競技会、およびその後の競技者がプレーした競技会でのすべてのイベントからの失格。
- ・1年から4年の範囲で指定された期間、ブラインドサッカーおよび/またはロービジョンフットサル競技会への参加の停止。
- ・名前と停止期間の公表。
- ・意図的な詐病行為および/または意図的な詐病行為に関連する共謀を複数回犯したことが判明した競技者またはサポート要員は、4年から生涯にわたって競技への参加を停止される。

意図的な詐病行為および/または意図的な詐病行為に関連する共犯で非があるとされた競技者またはサポート要員の所属するチームに適用される裁定は、IBSAの裁量に委ねられる。

規律

「IBSA競技会規則-懲戒事項」は、独立した医療関係者 (Independent Medical Person(s)) 以外に適用される。

IBSAは、独自の裁量により、最大2人の医療専門家を法務倫理委員会に任命して追加の医療的な助言を提供することができる。これらの追加メンバーは、公平性を確保するために、他の任命された委員会メンバーと同じ条件に従うものとする。

上訴

「IBSA競技会規則-上訴」は、独立した医療関係者 (Independent Medical Person(s)) 以外に適用される。

IBSA Football Committee

2020年 9月

TCSの試合における適用

- ・TCS中に、ピッチ上のTCS競技者が2枚目のイエローカードまたは直接レッドカードを受けた場合、TCSは直ちに終了となる。その際、TCSは通常の交代となる(試合の各ピリオド中に補充する手順は、IBSAブラインドサッカー競技規則の退場に関するルールに従う)。
- ・TCS中に、コーチがTCS競技者としてピッチに入った競技者を交代させた場合、TCSは直ちに終了し、前述のTCSは通常の交代(チームが試合の各ピリオドの間に許可されている6つの交代の1つ)としてカウントされる。また新しい交代も通常の交代としてカウントされる。
例: 競技者Aは頭に損傷を負っている。競技者Aが診断のためにピッチから退き、競技者BがTCSとして出場。10分間のTCS診断中に、コーチは競技者Cを競技者Bに交代することを決定。この場合、2回の通常の交代(チームがまだ交代を許可されている場合)としてカウントされ、TCS期間はただちに終了となる。
- ・TCS診断に許可された10分間が経過した後、医師が審判に当該競技者がプレーを継続する準備ができていることを正式に伝えなかった場合、TCS期間は直ちに終了し、(チームがまだ交代を許可されている場合)交代は通常の交代としてカウントされる。
- ・TCS診断に許可された10分間の終了後、医師が審判に当該競技者が競技場に戻ることを許可したが、当該競技者がピッチに入る準備ができていない場合、TCS期間は直ちに終了し、(チームがまだ交代を許可されている場合)通常の交代としてカウントされる。
- ・TCS診断に許可された10分間に、医師が審判に競技者が競技場に戻ることができ、競技者がピッチに入る準備ができていることを公式に知らせた場合、TCSは通常の交代としてカウントされない。当該競技者は、次にボールがアウトオブプレーになったときに、再びフィールドに入る。TCS診断に許可された10分間は、競技者がピッチから離れるとすぐに開始される。
- ・TCS診断に許可された10分間の後、医師が審判に競技者が競技場に戻ることができることを公式に知らせず、チームが6回の交代を完了している場合、ピッチのTCS競技者は退かなければならない。次にボールがアウトオブプレーになった際にピッチから出される。チームは3人のB1競技者と1人のゴールキーパーでプレーを続ける。